



おくむさし

No. 14
令和2年3月24日

学びあう子 支えあう子 きたえあう子 校長 安田 孝之

いま、子どもたちに伝えたいこと

3月5日から市内小中学校が一斉の臨時休校を実施し、教育現場はその対応に追われつつ、今日に至っています。保護者をはじめ関係者の皆様には多大なるご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。また、家庭学習をはじめとした児童の見守りに際しては、本校からの協力要請にご快諾いただき感謝申し上げます。



本校は、市内小中学校に先駆けてタブレット端末を導入した学習活動を実施していたため、この機会に多様な形で端末を活用した取り組みも試みました。臨時休校中の間、職員室ではタブレット等で把握した様々な児童の様子が常に話題の中心でした。学習のツールだけでなく児童の様子を把握したり、また友達同士の様子を知る機会としたりして効果的な側面を実感しました。一方では、活用の際してのいくつかの課題も感じました。お気づきの点がございましたら今後の活用に生かして参りたいのでぜひ、お知らせください。

今日は、各学年で修了証を渡すところですが、子どもたちへは、以下の内容のお話しをしました。

「学校は、児童が成長する過程で学校教育をもって指導及び支援を行い、社会で生き抜く力を身につけさせることです。学校教育目標は、簡単な言葉で示されていますが、その想いを凝縮しています。毎日の学校生活で意欲的に学び、みんな楽しく、そして友達を大切にする心を養って、さらに身近な大人である家族、先生方や地域の方々を敬う気持ちを行動で表すことが自然にできることが大切です。そんな気持ちを振り返り、次の学年へ進んで欲しいと願っています。」ぜひ、ご家庭でも通知表を通して、この一年の学びについてお子さまと振り返ってください。

4月からは、年間行事計画にそって行う予定です

4月からは新学期が計画通り実施される予定ですが、市感染症対策本部の検討結果を受けて市教委の指導及び監督のもとで行事を延期したり、中止になったりすることも予想されます。当面は、バス通学が多い環境を鑑みて本校独自の対応を図ってまいります。児童の健康面では、各ご家庭の協力をいただきながら学校生活が安心・安全に過ごせるように努めてまいります。

地域の方々は、見守り活動を行うなかで子どもたちの健やかな学校生活を送るためにご支援をいただきありがとうございました。奥武蔵創造学園は、学校が学び、保護者が学び、地域も学ぶことを目指しています。来年度は、その実現に向けて取り組んでまいります。変わらずご協力を賜りたく存じます。よろしく願い申し上げます。